

資料1

令和元年度 福島県立図書館協議会資料

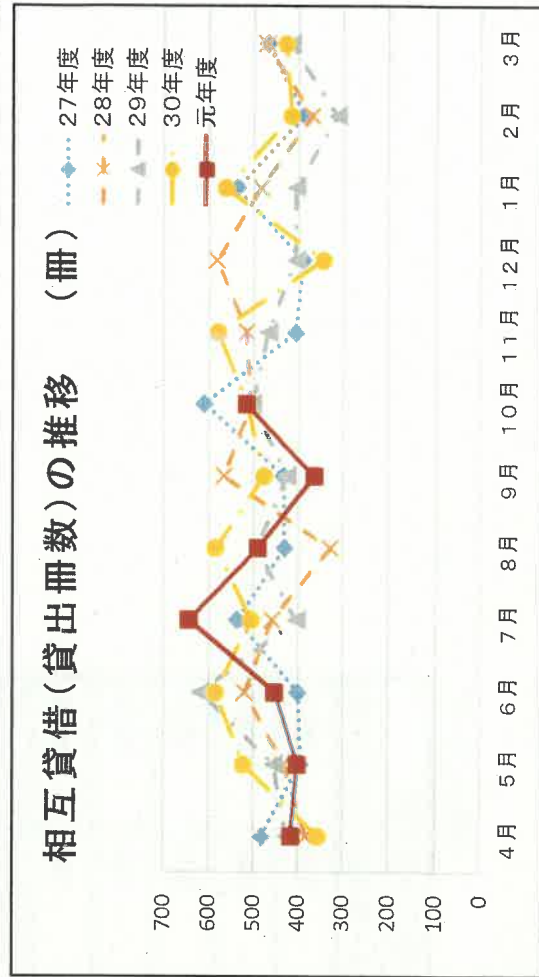
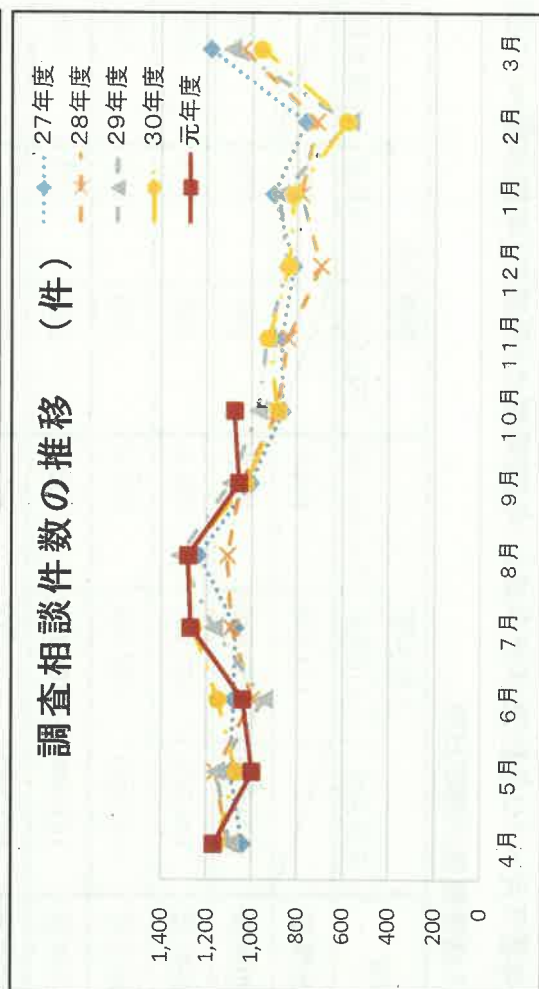
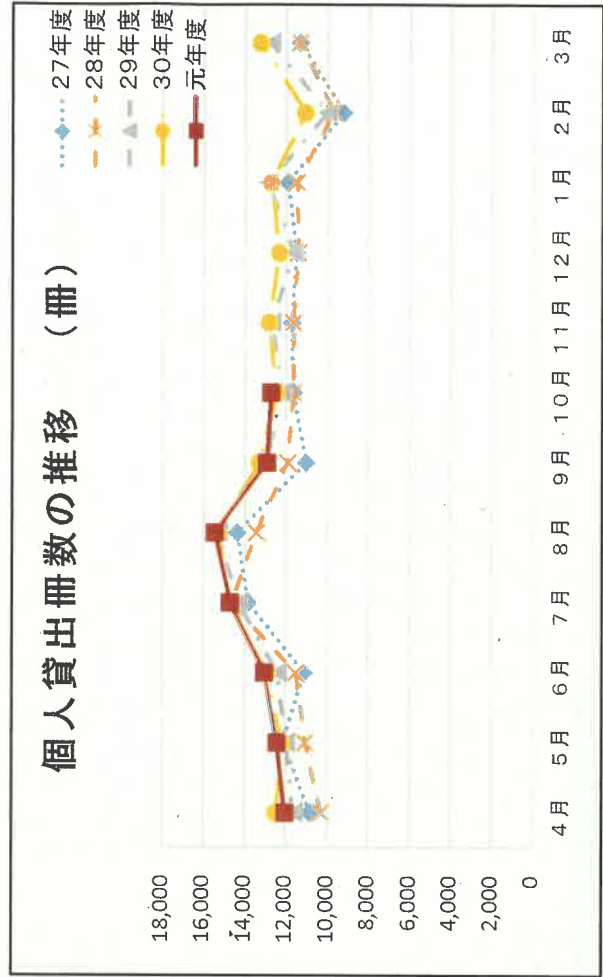
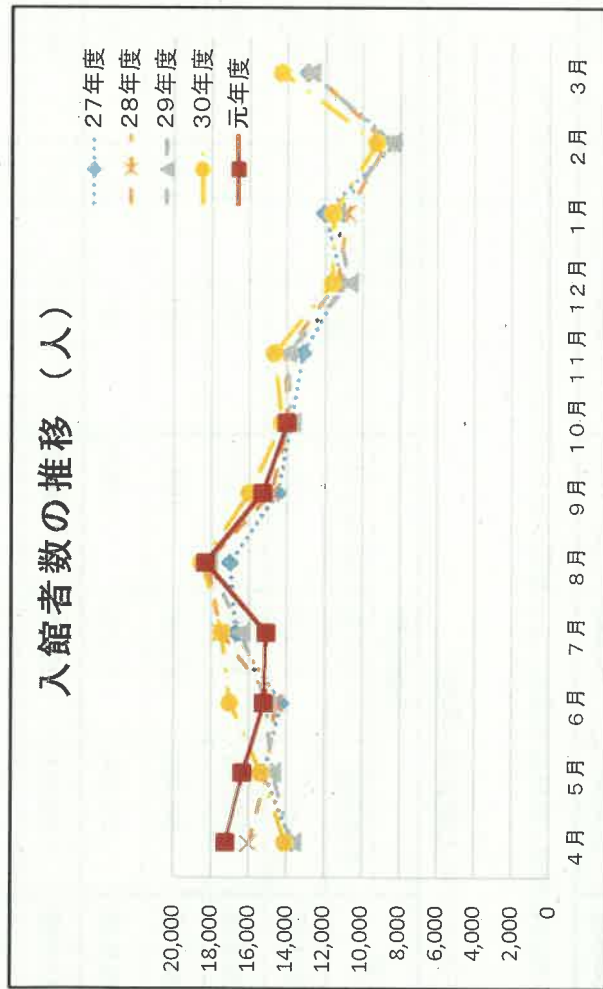
R元.12.13

図書館利用実績

福島県立図書館

平成27～令和元年度月別(4～10月)利用状況

令和元年10月末現在



令和元年度図書館利用実績【4月～10月】

1 各年度4月～10月計及び対平成27年度同期比(平成27年度実績=100)

(1) 入館者数及び開館日数

(単位:人・%・日)

区分	入館者数		平成27年度同期比	開館日数		一日当たり入館者数		
	年度合計	4～10月計		年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計	平成27年度同期比
令和元年度		111,376	105.9		177		629	106.4
平成30年度	174,034	112,643	107.1	286	176	609	640	108.3
平成29年度	164,502	107,147	101.9	288	177	571	605	102.4
平成28年度	167,650	109,994	104.6	285	176	588	625	105.8
平成27年度	162,594	105,162	100.0	288	178	565	591	100.0
平成22年度	232,133	164,262		269		863	923	

※ 平成22年度は、東日本大震災による被災のため3月12日から3月31日まで休館した。

こどものへや入館者数(再掲)

(単位:人・%)

区分	入館者数		平成27年度同期比	一日当たり入館者数		
	年度合計	4～10月計		年度合計	4～10月計	平成27年度同期比
令和元年度		35,711	101.8		202	102.5
平成30年度	55,116	35,694	101.8	193	203	103.0
平成29年度	54,748	35,181	100.3	191	199	101.0
平成28年度	56,484	37,323	106.4	197	212	107.6
平成27年度	55,276	35,079	100.0	192	197	100.0
平成22年度	78,204	54,429		291	306	

(4) 貸出冊数

(単位:冊・%)

区分	平成22年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計
総記	2,331	1,586	1,745	1,031	1,993	1,073	2,026	1,177	2,404	1,390	1,532	148.6
哲学宗教	5,976	3,913	4,210	2,492	4,046	2,448	4,451	2,543	4,718	2,865	2,598	104.3
歴史地理	9,470	6,093	7,002	4,311	6,387	3,633	7,399	4,338	7,616	4,395	4,876	113.1
社会科学	15,872	10,372	11,141	6,428	10,475	6,235	11,626	6,795	11,461	6,431	7,265	113.0
自然科学	9,791	6,655	7,152	4,409	6,832	4,148	7,151	4,356	7,335	4,298	4,514	102.4
工学工業	9,152	6,128	6,635	4,031	6,123	3,456	6,571	3,819	7,216	4,139	4,599	114.1
産業	5,569	3,811	3,411	2,146	3,432	1,994	3,584	2,220	3,663	2,198	2,474	115.3
芸術	10,150	6,901	8,165	4,968	7,983	4,720	7,937	4,658	8,308	4,794	4,748	95.6
語学	1,925	1,205	1,299	792	1,106	601	1,206	637	1,310	835	782	98.7
文学	25,305	16,993	19,687	11,603	19,464	11,393	21,337	12,566	21,619	12,755	12,977	111.8
地域資料	7,601	5,112	7,402	4,382	7,884	4,695	8,054	4,885	8,305	4,894	4,548	103.8
新聞雑誌	10,137	6,401	8,609	5,178	7,715	4,544	7,316	4,368	7,549	4,528	4,396	84.9
小計	113,279	75,170	86,458	51,771	83,440	48,940	88,658	52,362	91,504	53,522	55,309	106.8
児童	74,384	49,749	54,140	33,134	56,597	35,494	62,041	38,363	64,046	39,792	37,977	114.6
合計	187,663	124,919	140,598	84,905	140,037	84,434	150,699	90,725	155,550	93,314	93,286	109.9

(4) ホームページアクセス件数

(単位:件・%)

区分	実績値				平成27年度同期比					
	トップページ	蔵書検索	横断検索	デジタルライブラリー	こどものへや	トップページ	蔵書検索	横断検索	デジタルライブラリー	こどものへや
平成30年度	317,481	655,110	501,635	5,036	2,651	213.8	149.1	125.6	107.5	76.0
平成29年度	270,257	529,594	374,626	3,880	3,383	182.0	120.5	93.8	82.8	97.0
平成28年度	194,853	510,541	396,175	4,677	3,480	131.2	116.2	99.2	99.9	99.7
平成27年度	148,481	439,340	399,524	4,684	3,489	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成22年度	171,916	174,859	113,701	5,055	3,885					

(5) 移動図書館(あづま号)貸出冊数(単位:冊・%)

区分	冊数	平成27年度同期比
平成30年度	26,786	101.7
平成29年度	23,506	89.3
平成28年度	23,026	87.5
平成27年度	26,330	100.0
平成22年度	31,312	

(6) 市町村・学校への協力支援貸出冊数(単位:冊・%)

区分	冊数	平成27年度同期比
平成30年度	10,512	115.0
平成29年度	11,232	122.9
平成28年度	6,563	71.8
平成27年度	9,140	100.0
平成22年度	14,908	

只見線駅文庫の開設について

1 設置趣旨等

この事業は、県生活交通課只見線再開準備室が行う只見線実証事業として行うものです。只見線の利活用の一環として只見線の駅舎内に駅文庫を設置し、列車乗客や地域住民の方に利用いただき、マイレール意識の醸成を図るとともに只見線の利用促進につなげることを目的としています。当館では、ご利用いただくための図書 300 冊を提供しました。

当館では、多くの方々に楽しんで利用していただくことが、只見線の利用促進につながるものと捉えており、実証事業終了後も継続されるよう期待しています。

2 設置場所

会津柳津駅・会津川口駅

3 設置期間

令和元年 10 月 25 日（金）～令和 2 年 2 月 29 日（土）

4 メッセージカードについて

ご利用いただく方に向けて、只見線全線開通に向けた応援メッセージをはじめ、地元の自然や文化、産業などを紹介するメッセージを、地元の小学生に描いていただき、「メッセージカード」として、ご提供申し上げる図書 1 冊 1 冊に挟み込みました。



(会津柳津駅)



(駅文庫看板)



(会津川口駅)



(メッセージカード)

台風第 19 号被災支援について

下記により、県立図書館として台風 19 号の被災に係る支援を実施した。

記

1 本宮市 被災資料選別業務 (本宮市中央公民館)

- (1) 被災状況 10 月 13 日未明、阿武隈川と安達太良川の合流地点が決壊し、本宮市中央公民館の 1 階 が浸水し、書棚の下から 2 段目まで水没した。蔵書 4 万冊中、約 1 万～1 万 5000 冊程が水をかぶり、被災を免れた資料を別室に移動させた。被災した資料と書棚は撤去。



- (2) 職員派遣日・人数 11 月 11 日～14 日・18 日
5 日間 延べ 16 名

(3) 支援内容

・本宮市中央公民館図書室から運び出した資料のうち、蔵書として残すべき資料を選別した。

依頼された 15,746 冊 (一般書 9,185 冊、児童書 6,561 冊) を対象に確認を行い、約 12,000 冊 を残すべき資料と判断した。

・県立図書館の支援貸出分の引上げ 546 冊

2 いわき市 リ災証明発行業務

11 月 1 日～5 日 5 日間 1 名 (延べ 5 名)

3 本宮市 リ災証明発行業務

12 月 6 日～10 日 5 日間 1 名 (延べ 5 名)

福島県立図書館アクションプラン（第3次） 平成30年度実施事業結果報告シート

(1) 「県民のための図書館」であるために

ア 県民の知りたい情報ニーズに応えます

【県民のニーズに照らした多面的資料の収集と提供を行います】

1 県民のニーズに照らした多面的な資料の計画的な収集	
<p>(1) 偏りの無い蔵書構成と多面的な資料の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 「福島県立図書館資料基本要綱IV資料別収集方針」（以下「収集方針」という。）に基づき、資料収集調査委員会で、特定の分野に偏らないバランスの良い選書に努め、計画的に資料を購入した。 リクエスト制度により県民各世代のニーズに応えた。(119冊) <p>(2) 出版情報の迅速な入手</p> <ul style="list-style-type: none"> 出版社からの情報のほか、新聞・雑誌等の掲載情報を確認し選書に反映した。 	
2 市町村立図書館を支えるための資料収集	
<p>(1) 地域づくりや町おこし、6次化等地域活性化のための資料収集に努めた。</p> <p>(2) 基本図書・全集・参考図書など市町村のバックアップ資料を収集した。</p> <p>(3) 市町村からの購入リクエストに応じた。(23件23冊)</p>	
3 県民のくらしに役立つ資料の充実を図るための「県民のくらし応援文庫」の充実	
<p>(1) 福島民報社 (10万円・4月) 全テーマ (61冊)</p> <p>(2) テレビユー福島 (10万円・5月) 育児活動支援 (66冊)</p> <p>(3) ふくしま未来研究会 (100万円・7月) 全テーマ (565冊)</p> <p>(4) 大槻電設工業 (10万円・7月) 育児活動支援 (65冊)</p> <p>(5) ヤクルト販売 (5万円・8月) 育児活動支援 (32冊)</p> <p>(6) 福島民友新聞社 (10万円・10月) 健康長寿支援 (65冊)</p> <p>(7) 福島発電 (5万円・3月) 全テーマ (29冊)</p>	
指標 ①	<p>【年間貸出総冊数】 (基準値：平成28年度 176,296冊)</p> <p>*平成30年度 199,155冊 (参考)平成29年度 191,521冊</p>

【レファレンス機能の充実を図ります】

1 レファレンス資料の充実
(1) 収集方針に基づき資料収集調査委員会で計画的にレファレンス資料を購入した。
2 レファレンス環境の整備
<p>(1) パスファインダーの新規作成と更新に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「空模様を読む」(新規・一般) (6月8日) 「地域の出版文化を支える 福島民報出版文化賞」(更新・地域) (7月26日) 「ボランティアとNPO」(更新・一般) (9月21日) 「防災教育 子どもと学ぶ 子どもを守る」(新規・一般) (11月8日) 「名言・格言・ことわざを読む」(更新・一般) (12月21日) 「図書館を知る、学ぶ、調べる」(新規・一般) (2月5日) 「科学との出会い」(新規・一般) (3月3日) 「子ども・若者の生きづらさによりそう」(新規・一般) (3月5日) 「「平成」を振り返る」(新規・逐刊) (3月31日) <p>(2) 各種データベースの充実に努めてた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元新聞データベースの記事検索内容の充実(データの追加作成)と校正作業を実施した。(31,461件)

3 司書のレファレンス技術の向上

- (1) 新入職員のための「レファレンス・マニュアル（基本編）」を作成した。（5月）
- (2) 定期的に館内研修を実施している。
 - ・新入職員を対象にレファレンスミニ研修を行った。（5月・6月）
 - ・館内職員研修の一環として、国立国会図書館からの派遣研修員による「国立国会図書館のレファレンスツール」研修を実施した。（7月12日/7月19日/7月26日）
 - ・館内職員研修の一環として、当館職員による「インターネットで調べる科学技術文献」研修を実施した。（10月11日/10月18日/10月25日）
 - ・館内職員研修の一環として、当館職員による地域資料レファレンス研修を実施した。（12月7日/12月13日/12月21日）

指標 ②	【年間レファレンス件数】 (基準値：平成28年度 11,473件)	*平成30年度 11,949件 (参考) 平成29年度 12,074件
---------	--------------------------------------	--

【大学図書館等研究機関と連携し、専門的資料（情報）を提供します】

1	「福島県内大学図書館連絡協議会」での連携強化（相互貸借の促進）
	(1) 福島県立医科大学で開催された、同連絡協議会の総会に職員を派遣した。 (7月13日)
2	「ふくふくネット」の促進
	(1) 計画に基づいた連絡車（県立図書館・福島大学）の運行及び資料の貸出・返却を行った。
3	レフェラルサービスの強化
	(1) 広報委員会で、県内の専門機関紹介ページ（リンク集）の作成を検討した。 (継続)

【県内文化施設等との連携による情報の発信に努めます】

i	文化施設等による移動展示
	(1) 福島県文化財センター白河館との連携で、「被災地の文化財～双葉高校史学部の歩み～」を実施した。*双葉町教育委員会協力（5月3日～6月6日）
	(2) 会津地方振興局との連携で、写真パネル展「只見線秀景」を実施した。 (6月8日～7月4日)
	(3) 磐梯山噴火記念館との連携で、「世界の岩なだれ展～セントヘレスと磐梯山を中心に～」を実施した。（9月7日～10月3日）
	(4) 福島県歴史資料館との連携で、「村人たちの戊辰戦争」展を実施した。 (11月2日～12月5日)
	(5) 会津地方振興局との連携で、写真パネル展「只見線秀景」（第2回）を実施した。 (1月5日～2月11日)

2 文化施設等との連携講座

- (1) 「ふくしまを知る連続講座」を開催した。
 - ・(第1回) 磐梯山噴火記念館との連携で、「磐梯山の噴火から130年～世界の岩なだれの中の磐梯山～」を実施した。参加：60名(4月22日)
 - ・(第2回) 双葉町教育委員会との連携で、「被災地の文化財～双葉高校史学部の軌跡～」を実施した。*福島県文化財センター白河館協力 参加：23名(5月13日)
 - ・(第3回) 白河歴史民俗資料館との連携で、「県南の戊辰戦争～白河を中心に～」を実施した。参加：61名(10月6日)
 - ・(第4回) 福島市史編纂室との連携で、「福島の戊辰戦争～大藩の狭間で揺れ動く小藩の悲哀～」を実施した。参加：57名(10月21日)
 - ・福島県歴史資料館との連携で、「土(さむらい)たちの戊辰戦争」を実施した。参加：94名(11月25日)
- (2) 暮らしに役立つ講座を実施した。
 - ・福島県立医科大学との連携事業「衛生学・予防医学講座」実施した。参加：67人。(7月7日)
 - ・福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座(第2回)の開催に協力した。参加：211名。(7月8日)
 - ・福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座(第3回)の開催に協力した。参加：164名。(8月4日)
 - ・福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座(第4回)の開催に協力した。参加：166名。(9月9日)
 - ・県民講座(試行)として、法テラス福島との連携で「法律講座」を実施した。55名(2月24日)
- (3) 戊辰戦争期木版刊行物研究会との連携(後援)により、公開講演会とワークショップを実施した。参加：58名(9月9日)
- (4) 原國雄とその仲間たちとの共催により朗読会を実施した。
 - ・「春の朗読会」参加：180名。(5月20日)
 - ・「冬の朗読会」参加：188名。(12月2日)

3 実施事業の内容に合わせた関連資料の紹介

- (1) 「ふくしまを知る連続講座(第1回、第3回～第4回)」に合わせ、関連資料を展示した。(4月22日、10月5日～10月31日)
- (2) 県立美術館の企画展等の事業に合わせ関連資料を展示貸出した。
 - ・ポーラ美術館展をより楽しむために(4月28日～6月24日)
 - ・イラストレーター安西水丸展関連資料コーナー(7月7日～9月2日)
 - ・Into the bookに合わせたものづくりに関する資料を展示貸出した。(9月17日)
 - ・日本画の世界 ―伊藤若冲展を楽しむ―(3月16日～2019年5月6日)
- (3) 写真パネル展「只見線秀景」に併せ関連資料を展示貸出した。(6月8日～7月5日)(1月5日～2月11日)
- (4) 医大 衛生学・予防医学講演会に合わせ、関連資料を展示貸出した。(7月7日)
- (5) 福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座(第2回～4回)に合わせ、関連資料を紹介した。(7月8日、8月4日、9月9日)
- (6) 「世界の岩なだれ展」に合わせた時事展示を行い、関連資料を展示貸出した。(9月7日～10月3日)
- (7) 県民講座「終活入門～その日に備える遺言、エンディングノート～」に合わせ、関連資料を展示貸出した。(2月24日)

イ 東日本大震災等の記録を残します。

【「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を継続し、
情報ニーズに応えた新たな活用を図ります】

1 資料収集の継続

- (1) 福島県に関連する資料を重点的に収集するため、市町村と連携した地域の資料情報の収集に努めた。
- (2) 資料群の充実を目指すため、既存資料で未購入のものにも収集範囲を遡及することとし、当該資料として震災前後における浜通り地方の空中写真の購入について検討した。(継続)

2 「防災教育」「放射線教育」を支援するためのセット編成・活用
(1) 「学校図書館活動支援セット貸出」等の再編成に合わせて、「防災」「減災」「震災」セットの整備を行った。

ウ あらゆる人々が利用できる環境を整備します。

【高齢者や障がい者等の要配慮者に対するサービスの充実を図ります】

1 障がい者サービス体制の整備
(1) サービス部門の各班に、障がい者サービス担当者を配置した。(4月) (2) サピエ図書館への登録(入会)を完了した。(5月15日) (3) リーディングループ及びリーディングトラックを新規に設置した。(8月) (4) 「認知症」をテーマとし、館内で職員研修を実施した。(9月6日)
2 適切な資料の充実(大活字本、さわる絵本、デジタル情報等)
(1) 大活字本の購入に努めた。 (一般:21タイトル41冊購入、児童:50タイトル88冊購入) (2) 大活字資料リストの改訂を行った。(6月)

エ 県内のどこからでも利用できる環境を整備します。

【どこからでも利用できるサービスを推進します】

1 非来館者サービスの継続と強化
(1) 非来館サービスの評価と見直しを行うため、班長レベルによる会議を開催し、本プラン期間内のスケジュールについて確認した。(10月11日)

オ 快適な利用空間を提供します。

【施設環境・設備環境の改善を行います】

1 ユニバーサルデザインに照らした環境づくり
(1) 障がい者サービス担当者会議で、今できることを検証し、カウンター周りにリーディングループ及びリーディングトラックを配置した。(8月)*再掲
2 書庫の狭隘化に対する検討
(1) 喫緊の懸案事項であることについて、主務課との情報共有を図っている。 (2) 平成30年度除籍(927冊)を実施した。(9月21日)

(2) 「子どもたちの今と未来のための図書館」であるために

ア 学校図書館への支援と連携強化に努めます。

【児童図書研究室としての役割を踏まえ、選書情報を提供するため、幅広い資料の収集を目指します】

1 適切な選書情報の提供
(1) 学校図書館でも活用できる情報の提供を行うため、『児童図書研究室ニュース』を発行した。(4月/7月/7月号外/10月/12月) (2) 小中学校の学習指導要領に合わせた参考資料を充実させるため、参考資料の点検及び出版状況を確認した。

【学校司書や学校図書館ボランティアに対する研修会を実施します】

1 研修機会の提供（実施例：「初任者研修会」、「実務研修会」等）
(1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会において学校図書館部会を実施した。学校関係者の参加：37人（全体で99人）（5月25日） (2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。（全体では6人）（今年度は学校関係者の参加はなし）（6月21日～22日） (3) スマイルプロジェクトで「ブックトーク」の講演と演習を実施した。学校関係者の参加：5人 全体で23人（11月4日） (4) 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会を実施した。学校関係者の参加：5人（全体で33人）。（11月16日）
2 県教育委員会等が行う学校図書館関係者向け研修等への職員派遣
＊学校関係者も参加する、以下の研修事業に職員を派遣した。 (1) 白河市立図書館「図書館講座」（6月6日） (2) 福島市吾妻学習センター「吾妻学習センター市民公開講座」（6月13日） (3) 県北教育事務所「子ども読書セミナー」（6月14日） (4) 西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」（6月19日） (5) 聖光学院高等学校「絵本の読み聞かせ」授業（7月19日） (6) いわき教育事務所「読書活動支援者育生事業」（7月20日） (7) 義務教育課「サポートティーチャー派遣事業」（7月27日） (8) 県中教育事務所「読書活動支援者育生事業」（9月21日） (9) 図書館基礎講座 in 青森（10月3日）

【学校図書館への資料を支援します】

1 「学校図書館図書活動支援セット」等の利用の推進	
(1) 授業で活用するための「学校図書館図書活動支援セット」の利用促進に努めた。 ・小学校6校（鮫川/余目/川内/大森/なみえ創生/富岡第一）、中学校2校（西会津/鮫川）、高校7校（福島西/福島北/本宮/福島商業/相馬/聖光学院/大沼）に貸出した。 ・金山町教育委員会に、学校図書館運営セット（53+CD3）、比べ読みセット（かさじぞう19冊）（英語と日本語で読める絵本80冊+CD8）を貸出した。 (2) 学校図書館への資料支援事業の再編を検討した。 (3) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています！』を作成し、県内の図書館・公民館・学校（教育委員会）に対して周知した。（4月10日）	
2 図書館未設置自治体の学校支援の推進	
(1) 図書館未設置自治体（学校図書館）への移動図書館車の運行を継続実施した。平成30年度は25自治体に対し実施しているが、学校に対しては26校に巡回した。 (2) 移動図書館巡回時に、各町村教育委員会担当者および各教育事務所担当者と連絡、情報交換を行うことで、各教育委員会及び各教育事務所との連携強化に努めた。	
指標③	【学校図書館活動支援セット貸出実績】 （基準値：平成28年度 18件/54セット）
	＊平成30年度 16件/44セット （参考）平成29年度 15件/48セット

【避難自治体の学校再開に合わせ、学校図書館を支援します。】

1 運営相談の実施	
<p>(1) 当該自治体への移動図書館車の運行を継続実施し、資料の貸出しに加え学校図書館活動についての運営相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯館村、川内村、檜葉町、葛尾村に継続巡回を実施した。また、平成30年度からは、新たに富岡町と浪江町にも巡回を開始した。 <p>(2) 学校図書館の活動を含めた運営相談のため、要請及び状況に応じて職員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に再オープンした富岡町図書館に巡回し運営相談を実施した。(4月12日/6月27日/9月26日) ・平成31年度に再オープンを目指す浪江町図書館(教育委員会)に巡回し運営相談を実施した。(8月29日) <p>(3) 館長による面談を実施し、学校図書館の活動についても意見の交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡町教育委員会教育長との面談を実施した。(10月30日) ・浪江町教育委員会教育長との面談を実施した。(10月30日) 	
2 資料支援事業の最大限の活用	
<p>(1) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校(教育委員会)に対して周知した。(4月10日) *再掲</p>	

イ 子どもが本に親しむ機会を提供します。

【子どもにとって利用しやすい環境を整備します】

1 読書や学習のサポート	
<p>(1) スマイルプロジェクト(本はともだち)の実施に合わせブックリスト『本はともだち 福島を知る 福島を伝える』を作成した。(11月4日)</p> <p>(2) 子ども向け「本の調べ方案内」の第1号を発行した。(2月1日)</p> <p>(3) ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ(子ども向け)をリニューアルし、より利用しやすくするため、コンテンツの確認作業に着手した。(9月) ・ホームページ(Twitterを含む)を活用し、毎月、時節に合わせた本や展示コーナーの紹介を実施した。 <p>(4) 県教育委員会が行う「中学生・高校生によるビブリオバトル福島県大会」時に、チャンプ本の展示を行った。</p> <p>(5) 当館での使用期間が終了した資料の譲与を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津美里町教育委員会(1,000冊)・福島県大笹生学園(114冊) ・福島県中央児童相談所(52冊) (参考)・福島県男女共生センター(55冊)・福島刑務所(463冊) ・福島警察学校(400冊)・ふくしま自治研修センター(47冊) 	
2 外部の協力による学習支援	
<p>(1) 県立美術館と連携し「ちいさなおはなしかいスペシャル」を開催した。 参加:計72名(7月12日:53名/8月9日:19名)</p> <p>(2) 県立美術館と連携し「アートなおはなしかい」を開催した。 参加:23名(7月21日)</p> <p>(3) 磐梯山噴火記念館と連携し子ども向け講座「実験でせまる!ふくしまの火山〜磐梯山・吾妻山〜」を開催した。参加:32名(9月8日)</p> <p>(4) spffサイエンス屋台村で行われた実験の参考資料を展示・紹介した。 (11月17日)</p>	
指標④	<p>【児童資料館外個人貸出冊数】 (基準値:平成28年度実績 56,597冊)</p> <p>*平成30年度 64,046冊 (参考)平成29年度 62,041冊</p>

【子どもを取り巻く大人（保護者等）への情報提供の環境を整備します】

1 情報支援
<ul style="list-style-type: none"> (1) スマイルプロジェクト（本はともだち）の実施に合わせブックリスト『本はともだち 福島を知る 福島を伝える』を作成した。*再掲 (2) 館内用案内図「子育て支援マップ」を改訂し、保護者向け「利用案内」「ママ・パパ・こどもマップ」を作成した。（4月） (3) 保護者や学校図書館の関係者たちが、子どもの本を選ぶ際に参考できるよう、「おはなしかい」の実施記録を活用するための資料内容を検討した。 (4) 資料検索をしやすくするため、洋書データの整理を行った。
2 研修の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> (1) スマイルプロジェクト事業に合わせ、「ブックトーク」の研修会を実施した。（11月4日） (2) 要請により、職員の講師派遣を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・福島市アクティブシニアセンターアオウゼ講座「読み聞かせたい！絵本のあれこれ」（4月18日） ・矢祭もったいない図書館「矢祭子ども司書講座」（5月26日） ・白河市立図書館「図書館講座」（6月6日） ・国見町教育委員会「国見町子ども司書講座」（6月9日） ・福島市吾妻学修センター「市民講座」（6月13日） ・県北教育事務所「子ども読書セミナー」（6月14日） ・西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」（6月19日） ・聖光学院高等学校「絵本の読み聞かせ」授業（7月19日） ・いわき教育事務所「読書活動支援者育成事業」（7月20日） ・義務教育課「サポートティーチャー派遣事業」（7月27日） ・田村市立図書館「めざせ！図書館司書」（8月5日） ・県中教育事務所「読書活動支援者育成事業」（9月21日） ・日本図書館協会「図書館基礎講座 in 青森」（10月3日） ・名取市図書館「福島県の子供の読書活動と児童サービスについて」（11月22日） ・天栄村老人福祉センター「読み聞かせ講座」（11月28日） ・県南地区公共図書館・公民館図書室協力事業連絡会議「ブックトーク」（3月14日）

(3) 「市町村（図書館・公民館等）を支える図書館」であるために

ア 市町村の図書館活動を支援します。

【資料の提供を行います】

1 市町村が必要とする資料の提供		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 「協力貸出」の促進に取り組んだ。 (2) 市町村図書館からの資料の「リクエストサービス」の広報に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・会津・南会津地区公立図書館・公民館連絡会に参加し周知した。（10月22日） ・県北地区公立図書館・公民館連絡会に参加し周知した。（11月21日） ・県中・県南地区連絡会に参加し周知した。（3月14日） (3) 資料展示の「出張展示」に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・小野町に対し、「小さな人たちのために-雑誌『赤い鳥』創刊100年-」展の展示資料を貸し出した。（10月16日） 		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> 指標⑤ 【協力貸出冊数】 (基準値：平成28年度実績 4,955冊) </td> <td style="vertical-align: top;"> *平成30年度 5,171冊 (参考)平成29年度 4,538冊 </td> </tr> </table>	指標⑤ 【協力貸出冊数】 (基準値：平成28年度実績 4,955冊)	*平成30年度 5,171冊 (参考)平成29年度 4,538冊
指標⑤ 【協力貸出冊数】 (基準値：平成28年度実績 4,955冊)	*平成30年度 5,171冊 (参考)平成29年度 4,538冊	

【図書館活動への運営相談等を行います】

1 「協力車」事業の運行及び運用の見直し
<p>(1) 平成30年度は、新設および再開図書館への運営相談の強化を重点事項として協力車を運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に再オープンした富岡町図書館に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(6月27日/9月26日) ・平成31年度に図書館を設置する会津美里町(教育委員会)に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(5月30日/11月21日) ・平成30年度に図書館を設置した浅川町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(8月1日) ・平成31年度に再オープンを目指す浪江町図書館(教育委員会)に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(8月29日)
2 新設・新築の図書館への運営相談の充実
<p>(1) 定期的な連絡機会を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を新設した浅川町に協力車による定期的な巡回を行い運営相談を実施した。(8月1日) *再掲 ・平成31年度に図書館を設置する会津美里町(教育委員会)に定期的な協力車の巡回を行い巡回し運営相談を実施した。(5月30日) *再掲 <p>(2) 副館長による面談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副館長が会津美里町教育委員会教育長との面談のため巡回した。(10月24日)
3 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催
<p>(1) 第1回目の「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。(6月8日) (参考) 本宮市の要請に応じ、近隣図書館の子ども読書活動に関する先進図書館の調査を行った。(9月)</p>

【図書館未設置町村の読書活動を支援します】

1 読書活動に対する運営相談の実施
<p>(1) 「移動図書館車」(図書館未設置を巡回対象)の巡回時に合わせ、運営相談業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は25町村に対して実施した。 そのうち、会津美里町(4月11日/5月18日/5月24日/9月26日/10月16日/11月6日)と石川町(4月20日/11月8日)は平成31年度図書館建設を予定しているため、重点的に対応した。 <p>(2) 移動図書館車巡回以外にも運営相談の機会を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津美里町来館により運営相談を実施した。 (4月18日/7月26日/8月22日/1月17日) ・会津美里町に訪問し運営相談を実施した。(3月28日) <p>(3) 要請及び状況により、職員の派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛尾村の図書室整備(運営相談)のため職員を派遣した。 (7月11日/9月3日~6日)
2 図書活動推進のための講師派遣
<p>(1) 国見町教育委員会「国見町子ども司書講座」(6月9日)</p> <p>(2) 西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」(6月19日)</p>

イ 県内全体のネットワーク体制の強化を図ります。

【資料の物流体制を推進します】

1 県内図書館間の物流体制の整備

- (1) 「協力車」事業の推進に取り組んだ。
 - ・協力貸出の搬送 769冊 (昨年 633冊)
 - ・市町村間相互貸借資料の搬送 676冊 (昨年 492冊)
 - ・遠隔地返却資料の回収 5,018冊 (昨年 4,554冊)
 - ・学校図書館 (協力貸出) の資料回収 3件/44冊 (昨年 12件/128冊)
 - ・学校図書館活動支援セットの搬送 16セット/853冊 (昨年 12セット/517冊)
 - ・受取館指定資料の搬送 51件/176冊 (昨年42件/125冊)
 - ・ふくふくネット (遠隔地返却資料搬送) 1,672冊 (昨年 1,816冊)
- (2) 宅配を活用した「協力貸出」の推進に取り組んだ。
 - ・件数4,402冊 (昨年 3,905冊)
- (3) 「移動図書館車」事業を活用した物流体制を強化した。(公民館を主に)
 - ・西会津町巡回時の5月22日と7月22日の2回、それぞれ3セットを搬送した。
 - ・北塩原村巡回時の5月29日と8月30日の2回、それぞれ3セットを搬送した。
 - ・金山町巡回時の6月5日に、学校図書館支援セット、比べ読みの絵本セット (いっすんぼうし)、英語と日本語で読める絵本セットを搬送した。
 - ・浪江町巡回時の11月15日に、3セットを搬送した。
- (4) 「図書館ポータル」内のILL機能の運用調整に取り組んだ。
 - ・県公共図書館協会に小委員会を設置し、「図書館ポータル」に実装している「ILL機能」の試行実施について協議を行なった。(8月23日)
 - ・臨時の福島県公共図書館協会理事会 (書面) を実施。(11月9日)
 - ・試行運用を開始した。(11月20日)

【資料の保存協力について検討します】

1 「デポジットライブラリー (共同保存図書館)」機能の実施に向けた県内関係機関との調整

- (1) 「福島県公共図書館協会実務担当者会議 (第1回)」で、事業の可能性と課題について協議を行った。(6月8日)
- (2) 県内の実情を調査するため、県内図書館等が所蔵する新聞 (昭和40年代以前を目安に) の所蔵調査を実施した。(6月7日)
- (3) 『現行購入雑誌保存年限及び保存指定館、現行受入新聞一覧』の継続作成を行った。
 - ・各公共図書館に調査を実施した。(6月7日)
 - ・調査結果について県内各図書館へ周知を行った。(10月17日)

【協力レファレンスを積極的に受け付けます】

1 「協力レファレンス」についての周知の強化

- (1) 広報委員会で、各種データデータベースの活用を含めた周知の強化について検討した。(継続)

【市町村立図書館相互の連携・協力体制の基盤を整備します】

1 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催

- (1) 第1回目の「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。(6月8日)
*再掲

2 福島県公共図書館協会の「地区別連絡会」への参加

- (1) 会津・南会津地区連絡会に参加した。(10月22日)
- (2) 県北地区連絡会に参加した。(11月21日)
- (3) 県中・県南地区連絡会に参加した。(3月14日) *関連 (No.69)

3. 「図書館ポータル」の活用

- (1) 県公共図書館協会に小委員会を設置し、「図書館ポータル」に実装している「ILL機能」の試行実施について協議を行なった。(8月23日) *再掲
- (2) 臨時の福島県公共図書館協会理事会(書面)を実施。(11月9日) *再掲
- (3) 試行運用を開始した。(11月20日) *再掲

ウ 県内図書館関係職員の研修をサポートします。

【研修機会を提供します】

1 研修機会(場所を含めた)の提供(実施例:「初任者研修会」「専門研修会」等)

- (1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会を実施した。参加:99人。(5月25日)
- (2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。参加:6人。(6月21日~22日)
- (3) 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会を実施した。参加者33人。(11月16日)

2 要請による職員派遣

- (1) 白河市立図書館「図書館講座」(6月6日) *再掲
- (2) 県北教育事務所「子ども読書セミナー」(6月11日) *再掲
- (3) 西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」(6月19日) *再掲
- (4) いわき教育事務所「読書活動支援者育生事業」(7月20日) *再掲
- (5) 県中教育事務所「読書活動支援者育生事業」(9月21日) *再掲
- (6) 県南地区公共図書館・公民館図書室協力事業連絡会議「ブックトーク」(3月14日)

エ 情報拠点として、図書館運営に必要な情報を収集し提供します。

【福島県立図書館情報ネットワーク事業】を維持し強化を図ります】

1 図書館システム環境の維持

- (1) システムの環境維持を図るため、現契約ベンダーとの「システム定例会」を実施した。(7月4日/2月5日)

2 「図書館ポータル」の活用

- (1) 県公共図書館協会に小委員会を設置し、「図書館ポータル」に実装している「ILL機能」の試行実施について協議を行なった。(8月23日) *再掲
- (2) 臨時の福島県公共図書館協会理事会(書面)を実施。(11月9日) *再掲
- (3) 試行運用を開始した。(11月20日) *再掲

3 新システムへの更新作業に合わせたWebサービスの評価と見直し

- (1) 「次期システム検討委員会」を設置し、検討に着手した。(8月30日)

【図書館システム及びLANシステムの更新作業を遂行します】

- 1 新システムへの円滑な移行のため、「次期システム検討委員会」を設置し、検討に着手した。(8月30日) *再掲

オ. 避難自治体の図書館活動を支援します。

【資料の提供と運営相談を行います】

1 資料支援事業の実施
(1) 「移動図書館車」事業を継続実施した。 ・7町村に対し継続実施中。 (浪江町/飯館村/富岡町/檜葉町/川内村/葛尾村/大熊町) (2) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校(教育委員会)に対して周知した。(4月10日) *再掲
2 運営相談の実施
(1) 運営相談のため、要請及び状況に応じて職員を派遣した。 ・平成30年度に再オープンした富岡町図書館に巡回し、課題について運営相談を実施した。(4月12日/6月27日/9月26日) *再掲 ・平成31年度に再オープンを目指す浪江町図書館(教育委員会)に巡回し、再開に向けた運営相談を実施した。(8月29日) *再掲 ・葛尾村の図書室整備(運営相談)のため職員を派遣した。 (7月11日/9月3日~6日) (2) 館長による面談を実施した。 ・富岡町教育委員会教育長との面談を実施した。(10月30日) *再掲 ・浪江町教育委員会教育長との面談を実施した。(10月30日) *再掲
3 定期的な情報収集
(1) 双葉郡4町について、図書館活動の状況を調査した。(8月/11月)

【他機関との連絡窓口として情報の収集・提供に努めます】

1 東日本大震災支援団体との連携
(1) 日本図書館協会(東日本大震災対策委員会)が行う情報交換会に職員を派遣した。(10月24日)

(4) 「ふくしまを知ることができる図書館」であるために

ア ふくしまの文化を伝えていくため、地域資料を収集・保存し、提供します。

【ふくしまに関する情報を広く収集・保存し、提供します】

1 ふくしまに関する情報の収集
(1) 地域資料収集のための広報の強化について、広報委員会で検討した。 (継続) (2) 福島県ゆかりの作家(県外在住者)の著作物購入のための利用状況確認を行った。
2 ふくしまに関する情報の保存
(1) デジタルライブラリーによる資料情報の提供を継続実施した。 ・「郷土誌(日立木村・八沢村・新地村)」他のデジタル化を行った。
3 ふくしまに関する情報の提供
(1) 『福島県郷土資料情報』を発行した。(3月) (2) 『福島県図書館報あづま』を発行した。(2月)

4 「ふくしまの未来をひらく図書館事業」
<ul style="list-style-type: none"> (1) 「海を渡ったサムライ-朝河貫一没後70年記念展-」を実施した。(6月8日～9月5日) (2) 「ふくしまから世界へ～国際人・朝河貫一のあゆみ～」を開催した。参加者168名。(6月9日) (3) 「朝河貫一没後70年記念展」関連事業として、司書によるギャラリートークを実施した。第1回目：43名(6月9日) 第2回目：16名(7月22日) 第3回目：7名(8月5日) (4) 『朝河貫一資料目録』改訂版を刊行した。(1月18日) (5) 『朝河貫一資料目録』改訂版 刊行記念講演会を開催した。(2月23日) (6) 関連出張展示の広報チラシを作成し、関係機関へ配布した。(3月)

【行政資料等の非販売資料を収集します】

1 地域行政資料収集のための広報の強化(実施例：県庁へのメール寄贈依頼、依頼の効果検証、県庁各部署への定期訪問の実施、市町村役場への行政資料寄贈依頼等)
<ul style="list-style-type: none"> (1) 県庁各部署への定期訪問の試行について、県庁の政策監会議に資料を提供し、周知を図った。(5月) (2) 県庁各部署へのメールによる寄贈依頼を実施した。(5月12日) (3) 県庁への定期訪問の試行を実施した。(8回) (4) 資料寄贈を呼びかけるチラシを作成し、関係機関へ配布した。(11月) (5) 「福島県行政資料コーナー」の紹介チラシを作成し、関係機関へ配布した。(12月) (6) 行政資料の提供依頼を関係機関へ行った。(3月)
2 市町村資料の収集ルートの確保(実施例：図書館・公民館を通じた資料収集等)
<ul style="list-style-type: none"> (1) 資料寄贈を呼びかけるチラシを作成し、関係機関へ配布した。(11月) *再掲 (2) 「福島県行政資料コーナー」の紹介チラシを作成し、関係機関へ配布した。(12月) *再掲 (3) 行政資料の提供依頼を関係機関へ行った。(3月) *再掲

イ 資料のデジタル化による保存と提供を推進します。

【地域資料・貴重資料のデジタル化事業を計画的に進めます】

1 デジタル化事業の推進
<ul style="list-style-type: none"> (1) 「郷土誌(日立木村・八沢村・新地村)」他のデジタル化を行った。*再掲 (2) 地域資料・貴重資料のデジタル化の対象及びその優先順位について検討している。(継続) (3) 逐次刊行物について、デジタル化候補資料の調査を実施した。 (4) 県内図書館等が所蔵する新聞(昭和40年代以前を目安に)の所蔵調査を実施した。(6月7日)

【「デジタルライブラリー」(HP)を利用しやすくします】

1 「図書館システム」の更新に合わせ、デジタルライブラリーをリニューアルするため、「次期システム検討委員会」を設置し、検討に着手した。(8月30日) *再掲
--

ウ Web環境を活用した情報の発信と共有化を推進します。

【ふくしまの情報を発信していきます】

1 インターネットによる情報発信
(1) 「ふくしま」を知ることができ、役に立つリンク集の作成を検討した。 (継続)
(2) 「県内市町村史」の目次情報ページの更新に取り組んでいる。 ・ 県北地方のデータを更新した。
2 Web環境を活用した新たな情報提供の体制の検討
(1) 図書館情報ネットワークシステムの更新にあわせ、新たな情報提供を出来る業務システムの検討を始めた。 (8月30日:次期システム検討委員会の設置) *再掲

【SNSを活用した情報発信をしていきます】

1 SNSを活用した情報発信
(1) Twitterによる広報活動を試行により実施した。(5月30日)

福島県立図書館アクションプラン（第3次） 令和元年度実施事業結果報告シート
（令和元年10月31日現在）

(1) 「県民のための図書館」であるために

ア 県民の知りたい情報ニーズに応えます

【県民のニーズに照らした多面的資料の収集と提供を行います】

1 県民のニーズに照らした多面的な資料の計画的な収集	
(1) 偏りの無い蔵書構成と多面的な資料の収集 ・「福島県立図書館資料基本要綱IV資料別収集方針」（以下「収集方針」という。）に基づき、資料収集調査委員会で、特定の分野に偏らないバランスの良い選書に努め、計画的に資料を購入している。 ・リクエスト制度により県民各世代のニーズに応じている。(59件/59冊) (2) 出版情報の迅速な入手 ・出版社からの情報のほか、新聞・雑誌等の掲載情報を確認し選書に反映している。	
2 市町村立図書館を支えるための資料収集	
(1) 地域づくりや町おこし、6次化等地域活性化のための資料収集に努めている。 (2) 基本図書・全集・参考図書など市町村のバックアップ資料を収集している。 (3) 市町村からの購入リクエストに応じている。(11件11冊)	
3 県民の暮らしに役立つ資料の充実を図るため「県民の暮らし応援文庫」の充実	
(1) 福島テレビ(10万円・9月)全テーマ(54冊) (2) ふくしま未来研究会(100万円・10月)全テーマ(522冊) (3) ヤクルト販売(株)(5万円・年度内予定)全テーマ	
指標①	【年間貸出総冊数】 (基準値：平成28年度 176,296冊) *令和元年度 122,675冊(10月末時点) (参考)平成30年度 121,776冊 平成29年度 119,196冊

【レファレンス機能の充実を図ります】

1 レファレンス資料の充実
(1) 収集方針に基づき資料収集調査委員会で計画的にレファレンス資料を購入している。
2 レファレンス環境の整備
(1) パスファインダーの新規作成と更新に取り組んでいる。 ・「福島県優良書籍」(新規・児童)(4月5日) ・「アートに触れるレオナルド・ダ・ヴィンチとルネサンスの巨匠たち」(新規・一般)(7月2日) ・「地域の出版文化を支える 福島民報出版文化賞」(更新・地域)(7月30日) ・「これからの社会を考える：環境問題を考える」(更新・一般)(10月8日) ・「平成」を振り返る」(更新・逐刊)(11月更新予定) (2) 各種データベースの充実に努めている。 ・地元新聞データベースの記事検索内容の充実(データの追加作成)と校正作業を実施した。(10月末時点で11,532件) ・「聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞データベース)」を導入した。

3 司書のレファレンス技術の向上							
(1) レファレンス記録の保存についてのマニュアルを作成中。 (2) 定期的に館内研修を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・本年度に利用を開始したDB「聞蔵Ⅱビジュアル」についての職員向けの研修を実施した。(4月) ・県立図書館初任者を対象にした「調査・相談カウンター業務」についての研修を実施した。(6月) ・児童資料チームにおいて、読み聞かせとブックトークの研修を行事ごとに実施した。(10月末時点で32回) ・国立国会図書館交換研修生による研修の実施を予定している。(2月) ・地域によるレファレンスミニ研修の実施を予定している。(1月) 							
指標②	【年間レファレンス件数】 (基準値：平成28年度 11,473件) <table style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>* 令和元年度</td> <td>7,893件 (10月末時点)</td> </tr> <tr> <td>(参考) 平成30年度</td> <td>7,830件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7,755件</td> </tr> </table>	* 令和元年度	7,893件 (10月末時点)	(参考) 平成30年度	7,830件	平成29年度	7,755件
* 令和元年度	7,893件 (10月末時点)						
(参考) 平成30年度	7,830件						
平成29年度	7,755件						

【大学図書館等研究機関と連携し、専門的資料(情報)を提供します】

1 「福島県内大学図書館連絡協議会」での連携強化(相互貸借の促進)
(1) 日本大学工学部で開催された、同連絡協議会の総会に職員を派遣した。(7月25日)
2 「ふくふくネット」の促進
(1) 計画に基づいた連絡車(県立図書館・福島大学)の運行及び資料の貸出・返却を行った。
3 レフェラルサービスの強化
(1) 広報委員会で、県内の専門機関紹介ページ(リンク集)の作成を検討している。(継続)

【県内文化施設等との連携による情報の発信に努めます】

1 文化施設等による移動展示
(1) 福島大学との連携で、「福島大学食農学類のめざすもの」を実施した。(5月10日～6月5日) *ロビー展示
(2) 福島県文化財センター白河館との連携で、「はま・なか・あいづ再生史～遺跡に残された生活環境再建へのあしあと～」を実施した。(6月7日～7月3日)
(3) 福島県歴史資料館との連携で、「奥会津の古文書」展を実施した。(10月4日～11月10日)
(4) 伊達市保原歴史文化資料館との連携で、「福島の偉人 三浦謹之助」展を実施予定。(11月12日～12月4日)

2 文化施設等との連携講座

- (1) 「ふくしまを知る連続講座」を開催した。
 - ・(第1回) 西岡義治氏による講座「私の好きなふくしまの山」を実施した。参加：120名(6月16日)
 - ・(第2回) 福島県文化財センター白河館との連携で、「はま・なか・あいづ 再生史～遺跡に残された生活環境再建へのあしあと～」を実施した。参加：62名(6月23日)
 - ・(第3回) 福島県観光交流課、福島県観光物産交流協会との連携で、「四季折々 ふくしま ほんものの旅」を実施した。参加：42名(9月15日)
 - ・(第4回) 福島県歴史資料館との連携で、「奥会津の古文書」を実施した。参加：36名(10月27日)
- (2) 暮らしに役立つ講座を実施した。
 - ・福島大学との連携で、講座「福島大学食農学類のめざすもの」を実施した。参加：108人。(5月25日) * 県民講座
 - ・福島県立医科大学との連携で、福島県立医科大学吉田富三記念福島がん哲学外来10周年記念市民公開講座を実施した。参加：155人。(6月22日) * 県民講座
 - ・福島県立医科大学との連携事業「衛生学・予防医学講座」実施した。参加：70人。(7月2日)
 - ・法テラス福島との連携で県民講座を実施した。
 - 第1回として、「相続」をテーマに法律講座を実施した。参加：52名(8月4日)
 - 第2回は「消費者トラブル」をテーマに11月24日に実施予定。
 - 第3回は「特殊詐欺」をテーマに2月9日に実施予定。
- (3) 原國雄とその仲間たちとの共催により朗読会を実施した。
 - ・「初夏の朗読会」参加：150名。(6月9日)
 - ・「冬の朗読会」(12月8日開催予定)

3 実施事業の内容に合わせた関連資料の紹介

- (1) 県民講座「福島大学食農学類のめざすもの」(福島大学農学群食農学類)にあわせ、テーマに沿った書籍を展示した。(5月25日)
- (2) 第1回ふくしまを知る連続講座に合わせ所蔵資料を展示した。(6月13日～7月3日)
- (3) 福島県立医科大学講座「明るくがんと生きる」(福島県立医科大学)に合わせテーマに沿った書籍を展示した。(6月22日)
- (4) 「図書館×福島県文化財センター白河館(まほろん) こども講座 ようかい手長・足長と考える ヒトと自然のかかわり」で5冊紹介した。(6月23日)
- (5) 朝河貫一博士から学ぶふくしまの未来講演会に合わせ所蔵資料を展示した。(7月5日～7月31日)
- (6) 県民講座「あなたの相続が変わる!～相続の基本と相続法改正～」(法テラス福島)に合わせテーマに沿った書籍・雑誌を展示した。(8月4日)
- (7) 国際交流協会との連携事業「みんないっしょに世界のことばでおはなしかい」で、4冊紹介した。(8月17日)
- (8) 第3回ふくしまを知る連続講座に合わせ所蔵資料を展示した。(9月6日～10月2日)
- (9) Into the bookに合わせてものづくりに関する資料を展示・紹介した。(9月16日)
- (10) 県立美術館との連携事業「アートなおはなしかい」で6冊紹介した。(10月26日)
- (11) 県民講座(法テラス福島との連携事業)に合わせテーマに沿った書籍を展示予定。(11月24日・2月9日)

イ 東日本大震災等の記録を残します。

【「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を継続し、
情報ニーズに応えた新たな活用を図ります】

1 資料収集の継続
(1) 福島県に関連する資料を重点的に収集するため、市町村と連携した地域の資料情報の収集に努めた。 (2) 資料群の充実に努めるため、既存資料で未購入のものにも収集範囲を遡及することとし、当該資料として震災前後における浜通り地方の空中写真の購入契約を行った。(9月27日)
2 「防災教育」「放射線教育」を支援するためのセット編成・活用
(1) 昨年度編成したセットの活用について、図書館総合展企画「全国の災害アーカイブ実施図書館」パネル展でパンフレットを設置し周知した。(9月19日) (2) 学校関係者が集うビブリオバトル県大会(11月9日)において、チラシを配布する予定。

ウ あらゆる人々が利用できる環境を整備します。

【高齢者や障がい者等の要配慮者に対するサービスの充実を図ります】

1 障がい者サービス体制の整備
(1) サピエ図書館運用開始のため準備に着手した。 ・サピエ図書館専用端末の準備、調整中。 ・貸出(搬送)の際に使用する用品を準備。 ・サピエ図書館運用マニュアル原案をもとに、カウンターサービスを念頭においたマニュアルを作成中。 (2) 職員の研修を行った。 ・障がい者サービス研修会(日本図書館協会)に職員を1名派遣した。(6月5日～7日) ・視覚障がい者のお話を聞く会(県立美術館)に職員12名参加(10月31日) ・読書バリアフリー研究会に職員参加予定(11月3日) ・図書館地区別(北日本)研修「高齢者サービスに求められる地域連携の在り方」に職員3名参加予定(11月13日)
2 適切な資料の充実(大活字本、さわる絵本、デジタル情報等)
(1) 大活字本の購入に適宜努め、6月には大活字資料リストの改訂を行った。

エ 県内のどこからでも利用できる環境を整備します。

【どこからでも利用できるサービスを推進します】

1 非来館者サービスの継続と強化
(1) 非来館サービスの評価を行うため、各種統計の分析に着手した。

オ 快適な利用空間を提供します。

【施設環境・設備環境の改善を行います】

1 ユニバーサルデザインに照らした環境づくり
(1) 公開図書室にトイレ案内を掲示した。 (2) 公開図書室に2台目の拡大読書器を配置した。
2 書庫の狭隘化に対する検討
(1) 喫緊の懸案事項であることについて、主務課との情報共有を図っている。 (2) 令和元年度の除籍(2,137冊)を実施した。(10月29日)

3 その他

- (1) 閲覧機の相席利用がしやすいよう、利用机に仕切りテープを貼った。また、夏休み期間中には館内放送による注意喚起を行った。

(2) 「子どもたちの今と未来のための図書館」であるために

ア 学校図書館への支援と連携強化に努めます。

【児童図書研究室としての役割を踏まえ、選書情報を提供するため、幅広い資料の収集を目指します】

1 適切な選書情報の提供

- (1) 学校図書館でも活用できる情報の提供を行うため、『児童図書研究室ニュース』を発行した。(4月/7月/7月号外)
- (2) 小学校の教科書改訂に合わせ、国語教科書の参考資料の確認と収集を行った。

【学校司書や学校図書館ボランティアに対する研修会を実施します】

1 研修機会の提供(実施例:「初任者研修会」、「実務研修会」等)

- (1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会において学校図書館部会を実施した。学校関係者の参加:26人(全体で73人)(5月24日)
- (2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。(全体では6人)(今年度は学校関係者の参加はなし)(6月20日~21日)
- (3) 小学校の先生方、学校司書のための福島県立図書館見学会を実施した。参加:13人(8月2日)
- (4) 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会を実施する予定。(12月6日)

2 県教育委員会等が行う学校図書館関係者向け研修等への職員派遣

- *学校関係者も参加する、以下の研修事業に職員を派遣した。
- (1) としょかんのTOMO南相馬研修会(第33回講演会)(5月16日)
 - (2) 子ども読書活動推進講演会(須賀川市)(6月21日)
 - (3) 図書ボランティア講座(西郷村)(6月27日)
 - (4) 北会津地区学校図書館協議会夏季研修会(7月24日)
 - (5) 読書活動支援者育成事業相双地区研修会(7月25日)
 - (6) 令和の夏 読書の世界 再発見ツアーin ふくしま(8月6日)
 - (7) 福島県南高等学校図書館研究会研究協議会(10月8日)

【学校図書館への資料を支援します】

1 「学校図書館図書活動支援セット」等の利用の推進

- (1) 授業で活用するための「学校図書館図書活動支援セット」の利用促進に努めた。
・小学校3校(鮫川/福田/大平)、中学校3校(西会津/鮫川/二本松二)、高校6校(福島北/本宮/会津学鳳/大沼/いわき光洋/学法石川)、特別支援学校1校(猪苗代支援)に貸出した。
- (2) 学校図書館への資料支援事業再編のための検討を行っている。
- (3) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校(教育委員会)に対して周知した。(4月10日)

2 図書館未設置自治体の学校支援の推進

- (1) 図書館未設置自治体(学校図書館)への移動図書館車の運行を継続実施している。令和元年度は23校に対して巡回している。
- (2) 移動図書館巡回時に、各町村教育委員会担当者および各教育事務所担当者と連絡、情報交換を行うことで、各教育委員会及び各教育事務所との連携強化に努めた。

指標 ③	【学校図書館活動支援セット貸出実績】 (基準値：平成28年度 18件/54セット)	*令和元年度 15件/63セット (10月末時点) (参考) 平成30年度 11件/28セット 平成29年度 15件/34セット
---------	--	--

【避難自治体の学校再開に合わせ、学校図書館を支援します。】

1 運営相談の実施
<p>(1) 当該自治体への移動図書館車の運行を継続実施し、資料の貸出しに加え学校図書館活動についての運営相談を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、浪江町、葛尾村、飯館村に継続巡回を実施した。また、令和元年度からは、新たに広野町にも巡回を開始した。 <p>(2) 浪江町の新図書館設置に当たり、状況の確認と運営相談を行った。(来館対応)(7月31日)</p>
2 資料支援事業の最大限の活用
<p>(1) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校(教育委員会)に対して周知した。(4月10日) *再掲</p>

イ 子どもが本に親しむ機会を提供します。

【子どもにとって利用しやすい環境を整備します】

1 読書や学習のサポート		
<p>(1) ビッグブック、大型紙芝居のリストを更新した。(4月)</p> <p>(2) 『令和元年度 福島県立図書館 見学のしおり』『ようこそ!福島県立図書館へ』の改訂を行った。(6月)</p> <p>(3) 図書館見学の受入対応を行った。 *受入数13件(見学児童:490人)</p> <p>(4) ヤングアダルトへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書の仕事場見学を実施した。参加:6人(4月30日) ・「YA(ヤングアダルト)の本」展示(ロビー展示)を実施した。(7月5日~9月4日) ・「YA(ヤングアダルト)文学」展示(ロビー展示)を実施した。(10月4日~12月4日) ・『LITTLE BIG』を発行した。(6月/10月) <p>(5) ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より利用しやすくするため、コンテンツの見直しを行い、年度内の公開を目指している。 ・ホームページ(Twitterを含む)を活用し、毎月、時節に合わせた本や展示コーナーの紹介を実施している。 		
2 外部の協力による学習支援		
<p>(1) 県文化財センター白河館(まほろん)と連携し、こども講座「ようかい手長・足長と考える ヒトと自然のかかわり」を実施した。参加:22人(6月23日)</p> <p>(2) 県国際交流協会と連携し、「みんないっしょに世界のことでおはなしかい」を実施した。参加:17人(8月17日)</p> <p>(3) 県立美術館と連携し「アートなおはなしかい」を実施した。参加:33名(10月26日)</p>		
指標 ④	【児童資料館外個人貸出冊数】 (基準値：平成28年度実績 56,597冊)	*令和元年度 37,977冊 (10月末時点) (参考) 平成30年度 39,792冊 平成29年度 38,363冊

【子どもを取り巻く大人（保護者等）への情報提供の環境を整備します】

1 情報支援
(1) 保護者向け利用案内を作成する予定である。(3月) (2) 保護者や学校図書館の関係者たちが、子どもの本を選ぶ際に参考できるよう、「おはなしかい」の実施記録を活用するための資料作成のため、内容の精査を行っている。 (3) 資料検索をしやすくするため、福島県関連情報の入力を随時行っている。 (4) 本に関する情報提供のため、「おかあさんもおとうさんも読んだ本」「どうぶつの絵本」等のミニ展示を11回行った。
2 研修の取り組み
(1) 要請により、職員の講師派遣を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・としょかんのTOMO南相馬研修会（第33回講演会）（5月16日） ・子ども読書活動推進講演会（須賀川市）（6月21日） ・図書ボランティア講座（西郷村）（6月27日） ・北会津地区学校図書館協議会夏季研修会（7月24日） ・読書活動支援者育成事業相双地区研修会（7月25日） ・令和の夏 読書の世界 再発見ツアーin ふくしま（8月6日） ・福島県南高等学校図書館研究会研究協議会（10月8日）

(3) 「市町村（図書館・公民館等）を支える図書館」であるために

ア 市町村の図書館活動を支援します。

【資料の提供を行います】

1 市町村が必要とする資料の提供		
(1) 「協力貸出」の促進に取り組んでいる。 (2) 市町村図書館からの資料の「リクエストサービス」の広報に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・会津・南会津地区公立図書館・公民館連絡会に参加し周知した。（9月17日） (3) 資料展示の「出張展示」に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「朝河貫一資料展示セット」の貸出を行った。 二本松市立二本松図書館（8月6日） 県立安積高等学校（8月19日） 		
指標 ⑤	【協力貸出冊数】 （基準値：平成28年度実績 4,955冊）	*令和元年度 2,837冊（10月末時点） （参考）平成30年度 3,134冊 平成29年度 2,824冊

【図書館活動への運営相談等を行います】

1 「協力車」事業の運行及び運用の見直し
(1) 昨年度に引き続き、新設および再開図書館への運営相談の強化を重点事項として協力車を運行している。 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度に図書館を設置した石川町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。（5月22日/8月21日） ・今年度に図書館を設置した会津美里町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。（6月26日/9月25日） (2) 館長による面談を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・館長が南会津町を訪問し、町長、副町長、図書館長と情報交換を行った。（5月28日）

2 新設・新築の図書館への運営相談の充実
<p>(1) 定期的な連絡機会を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度に図書館を設置した石川町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(5月22日/8月21日) *再掲 ・今年度に図書館を設置した会津美里町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(6月26日/9月25日) *再掲 ・会津美里町には、協力車の他、運営相談のため巡回した。(4月11日/8月8日) ・浪江町の新図書館の状況と運営相談に対応した。(7月31日) ・図書館を新設した浅川町、会津美里町、石川町の各図書館に年2回ずつ移動図書館を配車し貸出するとともに運営相談を行っている。 <p>(2) 館長による面談を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長が石川町を訪問し、公民館長兼図書館長と情報交換を行うとともに図書館の利用状況を視察した。(7月25日) ・館長が会津美里町を訪問し、教育長と情報交換を行った。(10月1日)
3 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催
(1) 第1回目の「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。(6月7日)

【図書館未設置町村の読書活動を支援します】

1 読書活動に対する運営相談の実施
<p>(1) 「移動図書館車」(図書館未設置を巡回対象)の巡回時に合わせ、運営相談業務を行った。令和元年度は23町村に対して実施している。</p> <p>(2) 移動図書館車巡回以外にも運営相談の機会を設けてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長が国見町を訪問し、生涯学習課長と図書館設置の話し合いをした。(7月2日) ・副館長が中島村を訪問し、生涯学習課長と図書館設置の話し合いをした。(6月13日) ・企画管理部長が柳津町を訪問し、公民館長と情報交換をした。(10月4日)
2 図書活動推進のための講師派遣
<p>(1) 国見町教育委員会「国見町子ども司書講座」(6月22日)</p> <p>(2) 西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」(6月27日)</p>

イ 県内全体のネットワーク体制の強化を図ります。

【資料の物流体制を推進します】

1 県内図書館間の物流体制の整備
<p>(1) 「協力車」事業の推進に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力貸出の搬送 263冊(昨年 306冊) ・市町村間相互貸借資料の搬送 386冊(昨年 339冊) ・遠隔地返却資料の回収 2,793冊(昨年 2,571冊) ・学校図書館(協力貸出)の資料回収 4件/36冊(昨年 2件/17冊) ・学校図書館活動支援セットの搬送 28セット(昨年 6セット) ・受取館指定資料の搬送 50件/140冊(昨年 28件/74冊) ・ふくふくネット(遠隔地返却資料搬送) 937冊(昨年 1,062冊) <p>(2) 宅配を活用した「協力貸出」の推進に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数2,589冊(昨年 2,875冊) <p>(3) 「移動図書館車」事業を活用した物流体制を強化している。(公民館を主に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬送件数 9回/29セット(昨年 4回/6セット) <p>(4) 「図書館ポータル」内のILL機能の運用調整に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県公共図書館協会実担当者会議において、現在試行している「ILL機能(相互貸借支援機能)」を本稼働することとした。(6月7日)

【資料の保存協力について検討します】

1 「デポジットライブラリー（共同保存図書館）」機能の実施に向けた県内関係機関との調整
(1) 館内資料収集調整委員会において、当館の方向性についての検討を行うこととしている。 (2) 『現行購入雑誌保存年限及び保存指定館、現行受入新聞一覧』の継続作成を行い、各公共図書館に送付した。（10月16日）

【協力レファレンスを積極的に受け付けます】

1 「協力レファレンス」についての周知の強化
(1) 広報委員会で、各種データデータベースの活用を含めた周知の強化について検討している。（継続）

【市町村立図書館相互の連携・協力体制の基盤を整備します】

1 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催
(1) 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。（6月7日）*再掲
2 福島県公共図書館協会の「地区別連絡会」への参加
(1) 会津・南会津地区連絡会に参加した。（9月17日）
3 「図書館ポータル」の活用
(1) 県公共図書館協会実務担当者会議において、現在試行している「ILL機能（相互貸借支援機能）」を本稼働することとした。（6月7日）*再掲

ウ 県内図書館関係職員の研修をサポートします。

【研修機会を提供します】

1 研修機会（場所を含めた）の提供（実施例：「初任者研修会」「専門研修会」等）
(1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会を実施した。参加：72人。（5月24日） (2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。参加：6人。（6月20日～21日） (3) 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会を実施する予定。（12月6日）
2 要請による職員派遣
(1) としょかんのTOMO南相馬研修会（第33回講演会）（5月16日）*再掲 (2) 子ども読書活動推進講演会（須賀川市）（6月21日）*再掲 (3) 音訳奉仕員研修会（点字図書館）（6月25日） (4) 図書ボランティア講座（西郷村）（6月27日）*再掲 (5) 北会津地区学校図書館協議会夏季研修会（7月24日）*再掲 (6) 読書活動支援者育成事業相双地区研修会（7月25日）*再掲 (7) 令和の夏 読書の世界 再発見ツアー in ふくしま（8月6日）*再掲 (8) 福島県学校図書館研究会（9月12日） (9) 福島県南高等学校図書館研究会研究協議会（10月8日）*再掲

エ 情報拠点として、図書館運営に必要な情報を収集し提供します。

【福島県立図書館情報ネットワーク事業】を維持し強化を図ります】

1 図書館システム環境の維持
(1) システムの環境維持を図るため、現契約ベンダーと現行システム延長に伴う打合せを継続的に実施している。 (2) 現契約ベンダーと当館のシステム運営委員会による「システム定例会」を実施する予定。 (3) ふくしま教育総合ネットワークシステム (FACE) の運用変更に伴う説明会への参加と運用業者・部署との調整を行っている。
2 「図書館ポータル」の活用
(1) 県公共図書館協会実担当者会議において、現在試行している「ILL機能 (相互貸借支援機能)」を本稼働することとした。(6月7日) *再掲
3 新システムへの更新作業に合わせたWebサービスの評価と見直し
(1) 「次期システム検討委員会」を開催した。(7月11日/19日/23日)

【図書館システム及びLANシステムの更新作業を遂行します】

1 年度当初に各図書館等から意見を聴取。それを基に仕様書案を策定した
2 仕様 (事務局案) を基に見積書を各ベンダーから收受し、予算要求事務を行った。
3 情報構造化協議書の策定を行う予定。(12月)

オ 避難自治体の図書館活動を支援します。

【資料の提供と運営相談を行います】

1 資料支援事業の実施
(1) 「移動図書館車」事業を継続実施した。 ・8町村に対し継続実施中。 (浪江町/飯館村/富岡町/檜葉町/川内村/葛尾村/大熊町/広野町) (2) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校 (教育委員会) に対して周知した。(4月10日) *再掲
2 運営相談の実施
(1) 運営相談のため、要請及び状況に応じて職員を派遣した。 ・平成30年度に再オープンした富岡町図書館に巡回し、課題について運営相談を実施した。(6月19日/9月11日) ・平成31年度に再オープンを目指す浪江町図書館 (教育委員会) に巡回し、再開に向けた運営相談を実施した。(7月17日) (2) 浪江町の新図書館設置に当たり、状況の確認と運営相談を行った。(来館対応) (7月31日) *再掲
3 定期的な情報収集
(1) 双葉郡4町について、図書館活動の状況を調査した。(7月9日/10月11日)

【他機関との連絡窓口として情報の収集・提供に努めます】

1 東日本大震災支援団体との連携
(1) 日本図書館協会 (東日本大震災対策委員会) が行う情報交換会に職員を派遣した。(9月19日)

(4) 「ふくしまを知ることができる図書館」であるために

ア ふくしまの文化を伝えていくため、地域資料を収集・保存し、提供します。

【ふくしまに関する情報を広く収集・保存し、提供します】

1 ふくしまに関する情報の収集
(1) 「福島県行政資料コーナー」の紹介チラシを改訂し、グループウェアに掲示するとともに館内に常設した。 (2) 資料寄贈を呼びかけるチラシを館内に常設した。 (3) 福島県ゆかりの作家（県外在住者）の未購入図書を調査・確認中。
2 ふくしまに関する情報の保存
(1) デジタルライブラリーによる資料情報の提供を継続実施した。 ・「郷土誌（飯曾石橋村）」等8点のデジタル化を行った。今後、城郭絵図等6点を予定している。
3 ふくしまに関する情報の提供
(1) 『福島県郷土資料情報』を発行予定。 (2) 『福島県図書館報あづま』を発行予定。

【行政資料等の非販売資料を収集します】

1 地域行政資料収集のための広報の強化（実施例：県庁へのメール寄贈依頼、依頼の効果検証、県庁各部署への定期訪問の実施、市町村役場への行政資料寄贈依頼等）
(1) 「福島県行政資料コーナー」の紹介チラシを改訂し、グループウェアに掲示するとともに館内に常設した。*再掲 (2) 資料寄贈を呼びかけるチラシを館内に常設した。*再掲
2 市町村資料の収集ルート確保（実施例：図書館・公民館を通じた資料収集等）
(1) 各市町村に対して、資料寄贈の依頼文書を発送する予定（2月）

イ 資料のデジタル化による保存と提供を推進します。

【地域資料・貴重資料のデジタル化事業を計画的に進めます】

1 デジタル化事業の推進
(1) 「郷土誌（飯曾石橋村）」等8点のデジタル化を行った。今後、城郭絵図等6点を予定している。*再掲 (2) 1900年以前に発行された資料から、デジタル化の対象資料の検証を行っている。 (3) マイクロフィルムに収録されていない『福島新聞』等の4タイトルについて検討している。

【「デジタルライブラリー」（HP）を利用しやすくします】

1 ホームページの改善
(1) 年度当初に各図書館等から意見を聴取。それを基に仕様書案を策定した。*再掲 (2) 「次期システム検討委員会」を開催した。（7月11日/19日/23日）*再掲 (3) 仕様（事務局案）を基に見積書を各ベンダーから收受し、予算要求事務を行った。*再掲 (4) 情報構想化協議書の策定を行う予定。（12月）*再掲

ウ Web環境を活用した情報の発信と共有化を推進します。

【ふくしまの情報を発信していきます】

1 インターネットによる情報発信
(1) 「ふくしまについて調べるためのデジタル化資料」を公開した(7月) (2) 「県内市町村史」の目次情報ページの更新に取り組んでいる。 ・白沢村、三春町、飯野町を入力中(3月更新予定)。
2 Web環境を活用した新たな情報提供の体制の検討
(1) 図書館情報ネットワークシステムの更新にあわせ、新たな情報提供を出来る業務システムづくりを進めている。 (仕様書の作成と情報構想協議書の作成、次期システム検討委員会の実施) *再掲

【SNSを活用した情報発信をしていきます】

1 SNSを活用した情報発信
(1) Twitterによる広報活動を本稼働した。(4月1日) (2) 館内広報委員会において、Twitterの運用について協議した。(10月1日)